



なまますて

※「なまますて」とは、「インドのあいふんぐ」おはようや「こん」には「の意味で使われます。我々の称える「南無」の語源ともなわれています。

他人と過去は
変えられないが
自分と未来は
変えられる
エリック・バーン

『いま、ここ、自分』



この言葉は、カナダの精神科医エリック・バーンの言葉です。私たちはさまざまな悩みを抱えて生きていますが、その大半は「他人」や「過去」の問題です。自分の力ではなかなかコントロール出来ないこの二つの問題に多くの人は引きずられ疲弊してしまいます。中部経典というお経の中に、次のような言葉があります。

過去を振り返るな、未来を追い求めるな。
過去となったものはすでに捨て去られたもの、
一方、未来にあるものはいまだ到達しないもの。
(中略)

今日の義務をこそ熱心にせよ、
明日の死を知り得る人はいないのだから。

大切なのは過去でも未来でもなく、現在です。自分ではコントロール出来ない「他人」や「過去」の問題をとりあえず脇に置いて、『いま、ここ、自分』の問題に集中する。これが未来をよりよいものにする一つの方法といえるでしょう。

(住職)

光林寺寺報 第二十二号

令和二年十二月五日 発行

発行所 時宗林長山 光林寺



秋季開山忌のご報告

去る、十一月二十三日、恒例の秋季開山忌が行われました。春の開山忌は非常事態宣言下ということもありやむを得ず中止と致しました。秋の開山忌についても十一月に入り県内各所で感染が判明し、一時は開催も危ぶまれましたが、食事の提供や随喜寺院住職によるご法話、宝物庫の開放を中止し、マスクの着用や手指の消毒の感染防止対策を施した上で厳修致しました。

一般参拝者は約百名程でしたが、このようなご時世でもご来山いただきました皆様には感謝申し上げます。また、北寺林地区の皆様には受付業務や鐘突きなどご協力賜り心より御礼申し上げます。

また、今回も約30名の御詠歌講員の皆さんが法要前に30分ほど御詠歌の奉詠をいただきました。誠にありがとうございました。

次回春季開山忌につきましては三月下旬頃を目処に感染状況等を見極めながら可否を判断したいと思っております。



光林寺からのお知らせ

◎除夜の鐘撞きについて

本年の『除夜の鐘』につきましては十分な感染症対策を取ることができませんので、一般参加は見送らせていただきます。

ご来山いただいても鐘はつけませんのでご了承下さい。

◎元朝詣りについて

『元朝詣り』につきましては、例年通り受付させていただきます。つきましては来山時の「マスクの着用」と「手指の消毒」をお願い致します。

また、誠に恐縮ですが元旦の受付時間を以下のとおりとさせていただきますのでご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆31日午後11時30分～元旦午前2時
☆元旦午前5時～



◎駐車場について

光林寺東側にも新しく駐車場を整備いたしましたのでご利用下さい。

- ①東駐車場……50台
- ②南駐車場……30台
- ③墓地駐車場……20台

※葬儀時には南駐車場を
年忌法要等は東駐車場を
ご利用下さい。



◎年忌法要のご案内について

来年度より十三回忌までの年忌にあたってはお檀家さんにご案内の葉書をお送りする予定です。是非、ご活用下さい。

十七回忌以降は例年通り位牌堂にてご確認ください。

